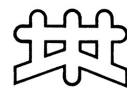




令和8年度大田市立北三瓶小・中学校学校だより



きたさんべのわかぎたち

第2号 2026.5.15 発行 校長 和田 美佐

リズムを創る5月～みんなでのっていこう～

新緑の5月も半ばとなりました。一年の中で最もさわやかなこの季節に自然を教材とした様々な活動に挑戦しています。

また、学校生活の一年の中で、流れを創って生活を軌道に乗せていく5月です。もう少しで連休だと思い、乗り越えた4月。実は疲れが見えやすいのが、5月から6月です。

5月を乗り切ると一年の「リズム」をつかみ始めます。

今一度、「しっかり寝る、食べる」を大切に、一年をのりきるリズムを定着させてほしいと思っています。

今年度の学校経営方針について、「学校運営協議会」「PTA総会」で承認、確認をしていただきました。

「ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる」北三瓶っ子を皆様の応援をいただきながら、育てていきたいと思ひます。

「支え、支えられることで、ふるさとへの愛着、挑戦心を育みたいと思ひます。北三瓶の「もの・ひと・こと」が貴重な資源です。よろしくお願ひします。」



学校運営協議会(4月22日・水)

今年度第一回目の「学校運営協議会」を開催し、今年度の学校運営、予算、行事等について、確認、承認をしていただきました。

そこで、そもそも…学校運営協議会とは…!?

地域、保護者代表等と学校管理職が学校運営や予算について、協働して考え、確認、承認をするための組織です。大田市内のすべての学校がこの「学校運営協議会」を設置しています。また、「学校運営協議会」を設置している学校を「コミュニティスクール」と言います。

地域の特色を活かした学校づくり、地域の人を活用した学校づくりが求められています。そのためにもこの組織があります。

「オキナグサ」の観察(4月27日・月)小学校3・4年

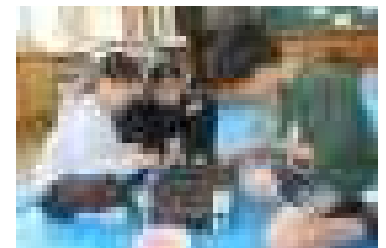
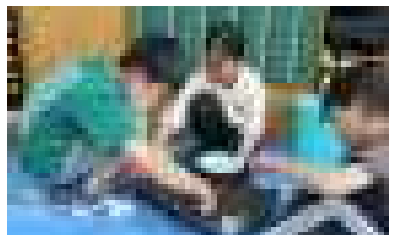
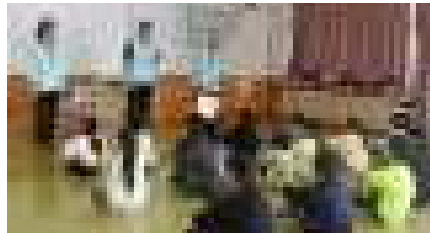
3、4年生が三瓶山西の原で「オキナグサ」の観察を行いました。三瓶自然館サヒメルの井上さんの説明を聞きながら、オキナグサの秘密をたくさん発見しました。子どもたちの質問から、秘密が明かされていく様子があり、子どもたちの視点はおもしろいなあと思いました。「なぜオキナグサという名?」「なぜ他の場所では育ちにくい?」北三瓶の子どもたちは、答えを知っています。ぜひ、子どもたちに聞いてみてください。

北三瓶小では、長年「オキナグサ」の愛護活動をしています。



人権の花種まき(5月8日・金) 小学校

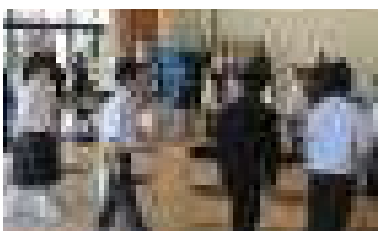
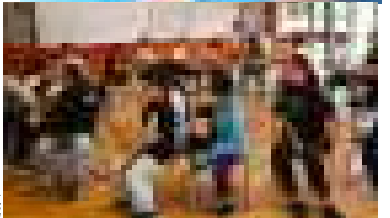
今年も人権擁護委員さんより、花の種をいただきました。そして、いただいた種をまずは小さなカップに植えて苗にします。種一つ一つを大切に丁寧に育てることで、一人一人の人権を大切にすることを意識していきたいと思います。



また、**花があると乱暴なことはしてはいけない気持ちになります。北三瓶の四季折々の花々は人権意識を育ててくれています。**

全校朝の会(5月13日・水) 小学校・中学校

生徒会、児童会が企画をしてくれる朝の会があります。今回は小学校児童会企画の「いすとりゲーム」。ストップのタイミングを見逃さないように真剣に音楽を聞き、同時に真剣にいすをみつめ、ねらいをつけて回り……。そして、楽しい声が響き。朝からとてもよい空気が流れました。「いすとりゲーム」はルールが簡単で、どの学年の人でも参加でき、そして、「聞く・見る」を鍛えます。児童会、ナイスな企画です。



田植え(5月7日・木)全小・中学生

全校で田植をしました。今年度もたくさんの地域の方が指導、応援に来てくださいました。田んぼに入ると足の動かし方が難しいことがよくわかります。しかし、地域の方は軽やかに進んで行かれます。泥に足をつける感覚は五感を磨いたり、足の力の入れ方や体のコントロールの仕方を学んだりして、体の発達にとってもいいと聞きます。また、食べ物が育つ過程を知ると、大切に食べようと思います。学びの多い北三瓶の「お米学習」です。

今回、中学生が機械を動かし、ばば引きをして、田植をリードしました。学年が上がるにつれて、できることが増えていきます。毎年、年上の仲間たちを見ている。9年間を通して「お米学習」をするっていいなと感じます。中学生が特によく頑張り、予定時間より早くに終了しました。

子どもたちの大切な学び「お米学習」が続けられているのは、地域の方の応援のおかげです。今年度もよろしくお願いします。

～言葉の力②～ よく話し合う北三瓶の子どもたち

子どもたちの学力の基礎として「語彙力(言葉を知っていること)」を伸ばしていきたいと考えます。一方通行のコミュニケーションが多い時代です。ネット社会では、一方的に発信して終わり、受け手の感じ方には知らん顔になることが多いです。そのため、相手の感じ方を確かめながらコミュニケーションを図ることは苦手になりがちです。自然と言葉は減っていきます。

しかし、北三瓶は少人数ですので、誰かが話さないと進まない、相手の感じ方を無視しても進まない。自然と上の学年が一生懸命に話し、聞こうとします。下の学年も聞いてもらえるから話そうとします。北三瓶の子どもたちはよく話し合いをします。この学校文化を大切にしたいと思います。

毎日の授業も大切に

当たり前ですが、授業は毎日あります。授業も頑張っています。特に中学生は今年度初の中間テストが、来週に控えています。毎日の勉強は大切です。



5月22日(金)遠足に向けて

小中学生みんなで「アクアス」に行きます。そこで、中学生が班長になった班でその日の目標や活動計画を話し合いました。中学生はリーダー経験を通してより成長する、小学生は中学生の姿を見て、自分の将来について考えることも学習です。何がしたい？とお互いの話を聞きながら、話し合いは進んでいきました。当日は**お弁当、よろしくお祈りします**